

26. 林業デジタル・イノベーション総合対策 (令和6年度補正予算額(林業・木材産業国際競争力強化総合対策の一部) 450百万円) (令和6年度補正予算額(花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策) 5,635百万円の内数)

<対策のポイント>

林業イノベーションプラットフォームの構築・運営、林業機械の自動化・遠隔操作化技術や木質系新素材等の開発・実証、ICTの活用に向けた技術者育成やソフト等の導入、「デジタル林業戦略拠点」の構築等を支援します。

<事業目標>

- 自動化等の機能を持った高性能林業機械等の実用化（8件 [令和7年度まで]）
- デジタル技術を地域全体でフル活用する取組の普及（デジタル林業戦略拠点が1つ以上ある都道府県数25 [令和12年度まで]）

<事業の内容>

1. 林業イノベーションハブ構築事業**39（39）百万円**

イノベーションの推進に向けた支援プラットフォームの構築・運営等を実施します。

2. 戰略的技術開発・実証事業**70（70）百万円**

林業機械の自動化・遠隔操作化技術、森林内通信技術、木質系新素材等の開発・実証を支援します。

3. ICT活用推進対策**① ICT活用技術者育成事業****46（-）百万円**

ICT等先進技術を活用して資源分析や路網設計ができる技術者の育成等を実施します。

② ICT活用環境整備事業**43（-）百万円**

ICTを活用して資源調査や生産管理等の効率化・省力化を図るソフト等の導入を支援します。また、林地台帳を効率的に更新するツールの整備等を実施します。

4. デジタル林業戦略拠点構築推進事業**78（78）百万円**

地域一体で林業活動にデジタル技術をフル活用する拠点づくりを支援します。

<事業の流れ>

委託、定額、1/2

地域コンソーシアム、民間団体等

(1、2、3の①、②の事業の一部、4の事業)

※国有林においては、直轄で実施

国

定額、1/2

都道府県

定額、1/2

林業経営体等

(3の②の事業の一部)

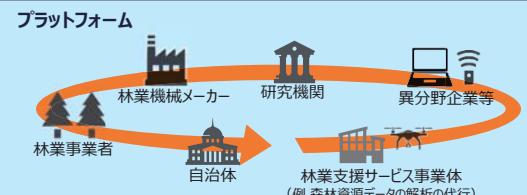
<事業イメージ>

林業イノベーションハブ構築事業

- 林業事業者や異分野企業等が参画するプラットフォームの構築・運営

- 林業のデジタル化に取り組む地域への伴走支援

- 新技術導入に向けたルールづくりなどの環境整備

**戦略的技術開発・実証事業**

- 自動化技術、木質系新素材等の開発・実証



林業機械の自動化等に向けた開発・実証

スギを原料とする新素材
「改質リグニン」の社会実装に
向けた技術の開発・実証

ICT活用推進対策

- 技術者育成、ソフト等の導入、林地台帳を効率的に更新するツールの整備

技術者育成



森林資源の
見える化
(森林GISの活用)

ソフト等の導入

**デジタル林業戦略拠点構築推進事業**

- 「デジタル林業戦略拠点」の構築

森林調査、伐採、流通、
再造林等へのデジタル
技術の活用等

地域コンソーシアム

都道府県・市町村

大学・研究機関

森林情報の提供、
関係者の意見調整

実証内容、
技術改良等の
アドバイス

出材コーディネーター
(県森連等)

林業支援サービス事業体
機械メーカー

金融機関

デジタル技術、
機器、アプリ等の提供

資金計画の
アドバイス

製材・合板工場

[お問い合わせ先] 林野庁研究指導課 (03-3501-5025)